

## 小企画展 光の空

— 阪神・淡路大震災から 20 年 — 芦屋



1 川廷昌弘 《一年後の桜》 1996 年 作家蔵

## 展示概要

阪神・淡路大震災から 20 年の節目となる 2015 年 1 月 17 日。人々は忘れられない記憶をそれぞれの形で受け止めています。

本展では、所蔵作品や資料を中心に、震災を契機とした表現活動や生み出された作品から、当時の記憶と記録を紹介するとともに、当館が行った作品・資料等の救出活動(「文化財レスキュー」)、開催した震災関連の展覧会を振り返りながら、美術と美術館の存在、その意義を改めて考えます。

本展の広報用写真や読者・視聴者用プレゼント招待券もご用意しておりますのでご希望の場合は別紙の FAX 用紙にてご連絡ください。ご不明点などございましたら、当館までご連絡くださいませ。ぜひご紹介いただきますようお願い申し上げます。

会 期	平成 26(2014)年 12 月 13 日(土)～平成 27(2015)年 2 月 8 日(日)
開館時間	午前 10 時～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)
会 場	芦屋市立美術博物館 第 2 展示室
休 館 日	月曜日(ただし祝日の場合は翌火曜日休館)、2014 年 12 月 28 日(日)～2015 年 1 月 5 日(月)
観 覧 料	一般 500(400)円、大高生 300(240)円、中学生以下無料 ※( )内は 20 名以上の団体料金 ※高齢者(65 歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方とその介護の方は各当日料金の半額
主 催	芦屋市立美術博物館

## 関連事業

### 講演会

「災害と地域の美術館・博物館の意義…阪神淡路大震災から 20 年」

日 時 | 2014 年 12 月 13 日(土) 午後2時～3時 30 分

会 場 | 当館一階講義室

講 師 | 河崎晃一氏(元芦屋市立美術博物館学芸課長／現甲南女子大学文学部メディア表現学科教授)

聴 講 費 | 無料(要展覧会チケット)

定 員 | 60 名

※事前申込不要 どなたでもご参加頂けます。

### 阪神・淡路大震災 20 年・語り継ぐこと／ リレートーク

「ここから、これから／わたしたちの生活(暮らし)」

阪神・淡路大震災 20 年の節目に、被災地エリアの文化施設での震災関連事業として、各館担当者が会場をリレートーク形式でつなぎ、震災を語り継ぐ。

日 時 | 2015 年 1 月 31 日(土) 午後2時～3時 30 分

会 場 | 当館一階講義室、展示室

講 師 | 和田かおり(神戸ファッション美術館)、大槻晃実(当館学芸員)

聴 講 費 | 無料(要展覧会チケット)

連 携 館 | 明石市立文化博物館、C.A.P.、神戸アートビレッジセンター、神戸ファッション美術館、神戸ゆかりの美術館、デザイン・クリエイティブセンター神戸、BB プラザ美術館、兵庫県立美術館

※事前申込不要 どなたでもご参加頂けます。

### 阪神・淡路大震災 20 年・語り継ぐこと／リレートーク

兵庫県南部地域は、美術館・博物館等文化施設の多い地域です。そこに勤務する企画担当者は、仕事の上での協力や様々な意見交換を活発に行っていました。特に近年は若手女性学芸員を中心に、従来の「館と館」「組織と組織」といった枠組みを超えた関係作りが模索されてきました。現場の情報交換をしたい。イベントや展示で連携したい。蓄積した館の資源を発信したい。日々培われたネットワークを活かし、自分たちにできることから、できる範囲で—この企画は、そんな担当者たちの思いから始まりました。

このエリアの施設は 20 年前に被災し、担当者もまた仕事の中で震災と向き合わざるを得ませんでした。震災を表現したアート作品、文化財レスキュー、防災グッズや衣服のデザイン、震災モニュメントやパブリック・アートのその後…。このリレートークは、そんな話を被災地の館から館へとつなぎ、語り継ぐ試みです。会場となる館の担当者から担当者へと「伝えたいこと」を対話でルーし、約半年かけて全 9 館を一巡する予定です。詳細はそれぞれの館へお問い合わせください。【 Face book: [www.facebook.com/relaytalk](http://www.facebook.com/relaytalk) 】

#### 実施期間

平成 27 年 1 月 17 日(土)～年 6 月 20 日(土)

#### リレートーク実施館 (五十音順)

明石市立文化博物館	078-918-5400
芦屋市立美術博物館	0797-38-5432
C.A.P.	078-222-1003
神戸アートビレッジセンター(KAVC)	078-512-5500
神戸ファッション美術館	078-858-0050
神戸ゆかりの美術館	078-858-1520
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)	078-325-2235
BBプラザ美術館	078-802-9286
兵庫県立美術館	078-262-0901

## 広報用画像

## 画像について

「光の空—阪神・淡路大震災から 20 年—芦屋」展の画像データをプレス掲載用にご用意しております。  
使用を希望される際は別紙、申込用紙にご記入のうえ、窓口までご連絡ください。



2 川廷昌弘 《一年後の桜》 1996 年 作家蔵



3 堀尾貞治 《震災風景》 1995. 3. 20》 1995 年 当館蔵

## お問合せ先

## 芦屋市立美術博物館

〒659-0052 芦屋市伊勢町 12-25  
<http://ashiya-museum.jp/>

## 企画内容に関して

学芸員：大槻晃実  
TEL:0797-23-2666(学芸直通)

## 画像貸出など広報について

担当：総務課  
TEL:0797-38-5432(代表)

小企画展

## 光の空

— 阪神・淡路大震災から 20 年 — 芦屋

FAX 連絡先  
(0797)38-5434

ご希望の写真番号に○をつけてご返送をお願いいたします。本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(10組 20名様まで)もご用意しておりますので、お気軽にご連絡ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・所蔵元など
1	川廷昌弘 《一年後の桜》 1996年 作家蔵
2	川廷昌弘 《一年後の桜》 1996年 作家蔵
3	堀尾貞治 《震災風景 1995.3.20》 1995年 芦屋市立美術博物館蔵

貴社名	
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	TEL FAX
メールアドレス	@
URL	
掲載・放送予定日	
写真到着希望日	
招待券希望枚数	組 名分希望

- ・写真データの使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。
- ・本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを当館までお送りくださいますようお願い申し上げます。
- ・本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。